防災・減災を目的とした森林整備を実施した事例
事業名　里山林整備事業（防災・減災型）
市町名　竹原市

取組のきっかけ・経緯

・竹原市では、市民の防災・減災への意識が非常に高く、地元からの要望が多いことが取組のきっかけとなった。

今後の展開

・次年度以降も引き続き地元要望等に基づき、森林組合等と連携しながら活動する。

取組の内容

・事業主体：　竹原市
・実施場所：　竹原市田万里町・西野町
・業務委託先：　尾三地方森林組合
・業務（実施）量：　0.03ha
・業務金額（事業費総額）：　3,280,000円
・業務（実施）期間：　令和5年10月
～令和6年2月

【整備前】

取組後の感想

【良かった点】
・地元の要望に応えることができ、かつ市内の防災・減災に努めることができた。
【悪かった点】
・予算の制約上、地元の要望に応えきれていない。

【整備後】

イノシシの隠れ場所をなくし、被害を防ぐための森林整備を行った事例
事業名　里山林整備事業（鳥獣被害防止型）
市町名　尾道市

取組のきっかけ・経緯

・イノシシが頻繁に出没する地域において、周囲山林の刈込を行い、イノシシ等が近づきにくい環境を整えることを目的に整備した。

今後の展開

・今回除伐を行った範囲について森林所有者等による維持管理を行い、継続して整備効果が発揮できるようにする。

取組の内容

・事業主体：　尾道市
・実施場所：　尾道市御調町植野
・業務委託先：　尾三地方森林組合
・業務量：　竹林等伐採0.23ha
・業務金額：　2,607,000円
・業務期間：　令和5年6月13日
～令和5年10月31日

【整備前】

取組後の感想

【良かった点】
・手入れの行き届かない森林等を整備したことで、イノシシが隠れやすい場所が一掃されたため、鳥獣被害予防効果が期待できる。

【整備後】

景観が悪化し、野生動物の棲み処となっている里山林及び竹林を整備した事例
事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）
市町名：三次市

取組のきっかけ・経緯

・当地区では、イノシシ・シカによる農作物被害を防止するため、地域ぐるみで防護柵の設置等に取組んでいるが、被害の拡大が止まらないため、農地周辺の竹林を伐採するとともに、天然林については林縁部の樹木と林内の低木類を除去して、明るく見通しの良い林内に整備した。

今後の展開

・イノシシ・シカによる農作物被害を軽減しながら景観を維持していくためには、地元地域による管理体制の確保が重要である。
・当市全域でも、イノシシ・シカ等による農作物被害が増大しているため、ひろしまの森づくり事業の活用について周知していく。

取組の内容

・事業主体：　三次市
・実施場所：　三次市東酒屋町
・業務委託先：　三次地方森林組合
・業務量：　天然林：0.48ha、竹林：0.41ha
・業務金額：　1,859,000円
・業務（実施）期間：　令和５年８月22日
～令和５年９月15日

【整備前（ヤブ化しうっそうとした林内）】

取組後の感想

【良かった点】
・農地周辺の天然林・竹林を整備したことで、明るく見通しの良い林内になり、景観が改善できた。
・水稲の収穫前に整備したことで、水稲へのイノシシ被害を未然に防ぐことが出来た。

【悪かった点】
・整備予定地の中に小面積ながら、所有者不明の土地があり整備できない場所が残った。

【整備後（明るく見通しの良い林内に）】

遊歩道周辺の里山林を整備した事例
事業名　里山林整備事業（環境改善型）
市町名　坂町

取組のきっかけ・経緯

・都市近郊林で、気軽に山林に親しむ機会を提供し、森林浴ができる環境づくりを行うため、遊歩道周辺の里山林の除間伐、倒木整理に取り組むこととしました。

今後の展開

・遊歩道周辺の里山林の倒木整理や除間伐を実施し、森林の荒廃を防ぐとともに、共有の財産である森を守る意識を醸成する取組を引き続き実施します。

取組の内容

・事業主体：　坂町
・実施場所：　坂町字惣頭山
　　（西谷遊歩道付近）
・業務委託先：　安芸緑化建設株式会社
・業務量：　1.5ha
・業務金額：　3,038,200円
・業務期間：　令和5年10月11日
　　～令和6年3月27日

【整備前】

取組後の感想

【良かった点】
・瀬戸に浮かぶ美しい多島美を望みながら森林浴もできたと、山に登る方々から好評を得ています。里山林の除間伐、倒木整理を継続することで、森林の荒廃を防ぐ効果も表れており、ひろしまの森づくり県民税の使途・効果を利用者に理解に繋げられていると感じます。
【悪かった点】
・イノシシ等の鳥獣被害を受けている箇所が目立つようになっており、今後の対策が必要となっています。

【整備後】

森林整備による地域資源周辺の環境整備事例
事業名　里山林整備事業（防災・減災型）
市町名　大崎上島町

取組のきっかけ・経緯

・手入れがされていなかったことで、日光が入りにくく、倒木の恐れがある森林を整備してもらいたいと地域住民から要望があった。

今後の展開

・他地区でも里山林整備事業を活用できる箇所を把握するために、広報等を活用しながら周知していく。

取組の内容

・事業主体：　大崎上島町
・実施場所：　大崎上島町中野
・業務委託先：　尾三地方森林組合
・業務量：　0.30ha
・業務金額：　1,999,800円
・業務期間：　令和5年11月30日
～令和6年3月15日

【整備前】

取組後の感想

【良かった点】
・手入れがなされず放置されていたことで危険であり日当たりも悪かったが、森林整備を行うことで、日当たりが良くなり倒木の危険性も軽減することができた。
【悪かった点】
・事業の認知度がまだ低いので、広報などで周知を行う必要がある。

【整備後】